



(157)

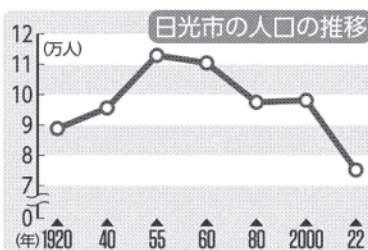
小学校高学年 (中学生向け) 年組

(2023年4月26日付・下野新聞21面)

減少続き100年前下回る

この100年、日本の人口が倍増する一方で、日光市の人口は増減を繰り返して、今は1920(大正9)年当時より1万人以上減った。人口減少は市にとって最も頭の痛い問題だ。

明治新政府は、現在の栃木県が誕生する以前の1869年には「日光県」を設置した。そこから発展した日光市は、89年の市制・町制施行で10の町村に集約される。人口のピークは合併がさらに進んだ1955年。日光、今市、足尾、栗山、藤原の5市町村で11万



わがまちの変遷 とちぎ150年

日光の人口

《1》

危機的な状況の中、市の取り組みでヒントを求めたのが「交流人口」というキーワードだ。年間1千万人近くが訪れる強みを生かし、訪れる人、関係する人を増やすことで定住人口の減少をカバー、経済的基盤の維持につなげようというのだ。

2940人を数えた。「祭りを楽しむ子どもの多さ、商店街で買物をする市民の活気が印象的」。市歴史民俗資料館の福田博晃主任は当時の写真を指す。9万人台後半で推移していた市人口は95年以降は減少が続く。新市が誕生した2006年は9万3158人。20年は7万7661人に減少、60年には3万人を割り込むという推計もある。

郷土を次世代に引き継ぐ。現代を生きる市民に課せられた最も重要な課題でもある。(大塚順一)

◇ 1873年に当時の宇都宮県と栃木県が合併し、現在の本県が誕生してから今年で150年。節目の年に各市町の変遷をたどる。(毎週水、木、金曜掲載。県北版は水曜)



1949(昭和24)年当時の旧今市市の祭り。子どもの多さが目を引く(市歴史民俗資料館提供)

設 問

【1】1920年の日光市の人口は、およそ何人でしょう？グラフから調べましょう。

【2】記事の内容を以下のようにまとめました。まちがっているところが1カ所あります。まちがいを見つけて正しく直しましょう。

- ①1869年 日光県の設置
- ②1955年 人口11万2940人
- ③2006年 人口9万3158人の新日光市の誕生
- ④2020年 人口約3万人

【3】次の()に当てはまる数字や言葉を、記事の中から選んで書きましょう。

日光市は、年間(ア)人近くが訪れる強みを生かし、訪れる人などを増やすことで(イ)的基盤の維持を目指す「(ウ)」をキーワードにしている。

【4】人口減少が続くと、どんな問題が起きるのでしょうか？調べてみて友達や家族と話し合ってみましょう。